

第3回登別市立図書館整備検討委員会 議事録要旨

- 日 時：令和6年11月13日（水）午後6時30分～午後8時30分
- 場 所：登別市市民会館 大会議室
- 出席状況：委員 15名（欠席）2名
行政 8名 教育部部長
教育部参与
教育部次長
教育部図書館長
教育部図書館主査
教育部図書館主任
総務部企画調整グループ総括主幹
総務部財政グループ総括主幹
傍聴 5名

1 開会

- (1) 本日の流れについて説明（委員長）
 - ア 配付資料確認（前回会議での委員からの要望資料）
 - a 商業施設に併設する図書館一覧（追記）
 - b アーニス分館および観光経済部の賃料
 - c 伊達市立図書館基本設計
 - イ 確認事項 これまでに感じた疑問点などの質疑応答
 - ウ 協議事項
 - a 図書館の整備について
 - b 次回以降の進め方について

2 配布資料確認

- (1) 配布資料の確認（図書館長）
 - ア 商業施設に併設する図書館一覧（追記）
 - a 人口規模と図書館部分の延べ床面積、蔵書冊数を追記した。（日本図書館協会が発行している「日本の図書館 2023」から引用）
 - イ アーニス分館および観光経済部の賃料
 - a アーニス分館とジョブガイド、観光経済部執務室の賃料をそれぞれ記載した。
 - b 観光経済部執務室の賃料には、公用車2台分の駐車場が含まれている。
 - ウ 伊達市立図書館基本設計
- (2) 配布資料についての主な質疑（下線部が市側の回答）
 - ア 「伊達市立図書館基本設計」の資料で、「伊達市立図書館整備基本構想」について触れているが、この基本構想の資料はいただけるか。

- (教育部局) 確認し対応する。
- イ (アに対して) 登別市の基本構想はあるのか。あるならば、当市の資料を出してもらったほうがわかりやすいのでは。
- ウ (イに関連して) 登別市の基本構想があってもそれしか判断材料がないので、伊達市のも参考にしたい資料をいただきたい。
- (教育部局) 「登別市立図書館が考える新図書館デザインプラン」の中に、「新図書館整備構想の策定にあたって基本的な考え方」と、「登別市立図書館のめざすもの」の二本がある。基本構想については、もう少し具体的に決まってから作成するのが一般的な例であるので、今後作成予定である。
- エ (ウの回答に対して) 具体的というのは、場所が決まったらということか。
- (教育部局) 場所及び一定の方向性が定まらないと基本構想は作れないと考えている。
- オ アーニスの賃借料の駐車場料金について、公用車2台とは移動図書館車こぐま号のことか。
- (教育部局) こぐま号ではない。前回の会議で委員より、今現在のアーニス分館と観光経済部の執務室部分の賃料の質問があったので、現在、観光経済部が使用している公用車(軽自動車2台分)の賃料である。
- カ アーニスに移転した場合、こぐま号の置き場所は。
- (教育部局) こぐま号は立体駐車場には入れないので敷地内に置けるところだと思うが、特に調整しているわけではない。
- (3) その他意見・要望
- ア 委員も専門家ではないので、図書館について疑問があると思う。自由に意見が言えるような会にして、お互いが知り得る情報を共有し、余裕を持った議論をさせてもらいたい。
- イ 資料をただ配布するのではなく、意志を統一しないといけないのでは。入れ物を先に決めるのではなく中身を先に決めないと、どんな入れ物に入れて良いかわからない。委員で図書館のことを勉強する日を設けてほしい。

3 確認事項

(1) 主な意見(下線部が市側の回答)

- ア この整備検討委員会に入る以前の問題が全然解決されないままに、この委員会が設けられているのではないかと。委員が何を議論するかというところまで中々結び付かず議事どおり進めるのも難しいと思っていた。アーニス移転そのものが、アーニスの救済策なのではないか。アーニスの財政状況は知れるのか。公共図書館の移転であるのに、なぜ自治推進委員会で議論するのを飛ばして、まちづくり委員会が提案したものが出てくるのか納得がいかない。
- (市長部局) 中央地区まちづくり協議会で中央地区の活性化を議論する中で、多くの人を集める力がある施設として図書館があり、折しも図書館は老朽化の問題を抱えているので、移転により商業施設の活性化が図られるのではないかと

という提言が市へ提出された。市長部局として、中央地区の活性化及び公共施設を総合的に管理する役割から、この二つの問題を解決する可能性があるのではないかと考え、教育委員会に情報提供したところである。

→（教育部局）まちづくりの観点からの提言ではあったが、今の図書館本館では色々な問題があり過ぎるため、アーニス移転は教育委員会としてはそれを解決出来る方策の一つだと考えている。移転で全てが解決するわけではなく、課題が残る部分はあるが、今抱えているバリアフリー問題、冷房設備、狭隘などの問題を解決できるであろうと思う。アーニスをどうかするために図書館を移転する考えではなく、図書館を助けてもらうためにアーニスを使わさせていただくという思いである。

イ 民間施設が倒産するリスクはどう考えているか。その場合、そこに残るのか他へ移転するのか。

→（教育部局）アーニスの経営状況については、調査機関でもないため知るすべがない。風評被害が及ぶ発言も差し控えたいとは思いますが、そうなった場合、そこに居る権利はあるであろうと思う。

→（市長部局）前回からアーニスに対する経営支援ではないかと質問をいただいているが、民間の団体であるので、我々の立場では経営状況を申し上げられないし、実際、市に対して直接的な財政支援を依頼された経緯も今までない。ただ、民間施設に移転することは、そういったリスクも考えないといけないのは確かだと思うが、そこを危惧するあまり商業施設に移転する選択肢がなくなるのは、図書館の今後を考える時にどうかというのはある。

ウ （イの回答に対して）アーニスの経営状況に関して、市民にとって重要な公共施設が入る以上、経営状況は可能な限り確認すべきなのではないかと思う。

→（市長部局）公共施設の継続性を考えた時には、一つの検討要素として入る施設の経営状況を検討すべきところはあるかもしれないが、行政として資料を入手出来たとして、民間団体である企業の情報を公開するのは難しいのかと思う。行政の責任として、経営状況が破綻を目前の状態であるのかどうかは確認する必要があるとは思いますが、市長部局の認識ではそのような状況にあるとは思っていないので、まちづくり協議会からの提言を受けて教育委員会に対して引き継いだ経緯である。

エ （ウの回答に対して）アーニスが一倒産した時、図書館と建物全部を登別市が経費をかけていくのではないか。

→（市長部局）市長部局で、施設の運営自体を行うのは全く望むところではないし、そうなること自体想定していない。

オ （エの回答に対して）アーニスの経営を応援するために、アーニス分館や観光経済部が入ったのではないか。そうでなければ、根拠を明確に示してほしい。図書館は建てた時から老朽化することは分かっていたことを、放っておいたからではないか。全然図書館の価値を認めない。こういう状態になってから、アーニスの移転案に乗った感じが納得がいかない。

→（市長部局）アーニスへのバックアップをずっとしてきたのではというよう

な話であるが、観光経済部がアーニスに入ったのも、温泉地区にあった観光振興グループを市役所本庁舎に移すには手狭で入れなかったため、アーニスに観光経済部を一つにするため移した経緯であり、決してアーニスに対する支援ではない。これを資料で説明と言われても難しいところである。結果アーニスの経営にプラスになった部分はあるかもしれないが、市として支援として行ったことではないので、誤解いただかないようにしていただきたい。

→（教育部局）1回目の会議でもお話させていただいたが、登別市の財政状況で、建てた時から次に建て替えるための積み立てておく余裕はなかった。公共施設で言うと、小中学校の耐震化や校舎の建て替えが優先されたのは間違いなし、クリンクルセンター等、市民の安心安全の施設を先に整備しなければならず、図書館が後回しになったのも事実だと思う。今後20年は新築は難しいでしょうというお話もさせていただいたが、アーニス移転であれば補助金が活用できる。ある程度のコストも少ない金額で整備することができる。リスクを重んじるばかりに、出来ることを放棄することが本当に妥当なのか皆様のご意見をお聞かせ願いたい。

- カ 今回の検討委員会で3回目であるが、同じようなことばかり話している気がする。皆さんの話を聞いてちょっと分からない。アーニスの経営状態から始まってアーニス攻撃ばかりになっている。全然先へ進まない、堂々巡りの内容であると思う。
 - キ 図書館の老朽化が厳しく移転しないといけないというのも分かる。アーニスは、エレベーター・自動ドアがあるというのは分かるが、利用者がこういう図書館で利用したいという声をなぜもっと拾ってもらえないのかと思う。アーニス移転後の登別の図書館の構想もなく、アーニス止まりで終わってる。市民がどんな図書館を求めているかを話し合わないと、一市民としては納得いかない。
 - ク 今一度多様な意見をしっかり踏まえる必要があるのではないかと。年間安定した賃料があればアーニスは維持できるのではないかと。その前提があれば、アーニス移転を受け入れることは可能なのか。そもそもアーニスが駄目なのか。
 - ケ （クの意見に対して）アーニスに反対ではない。リスクがあるからやめるではなく、経営の問題は想像し得るリスクだと思う。できる限り確認して欲しいということである。アーニスも絶対反対ではないし、私自身アーニスならこうしたら良いのになという考えもある。
 - コ 提案だが、これまでも色々な案が出ているので、アーニスはちょっと置いておいて、未来に向かってこんなのがあったら良いのではという提案型の議論に変えられないかなと思う。
 - サ アーニスかどうか別にして、行政経営というのであれば、あらゆるリスクを排除するのが当然だと思う。仮に倒産して出入り出来ると思うというのは、とても無責任な発言である。リスクマネジメントということで、もう少しシビアに思っただきたい。この委員会の必要性も違和感を感じる。きちっともう一回精査してから話してほしい。
- （教育部局）リスクを考えるのであれば、新築が一番リスクが高い。財政的

リスクが高いので、新築はない。何度もお伝えするが、市全体の問題としてのリスクが一番高いので、本庁舎借金返済が終わるまで少なくとも20年間難しい。他の移転先に関しても、行政としては市全体のことを考えなければいけないので、総合的に勘案するとアーニス移転が一番ベターだと思う。我々としては、アーニス移転で考えたい。

シ (サの回答に対して) 押しつけにしかならないと思う。教育委員会と行政は別部門である。教育行政として、どういうふうに考えているかまだ見えない。そこも踏まえた上で判断させてほしい。

ス アーニスの耐震構造が大丈夫だという根拠を明確に出してほしい。移転した場合の積算の根拠を出してほしい。平米あたりとかでなく、根っこの根拠。

→ (市長部局) 耐震ではなく、本の重さに耐えられるか荷重の話である。

→ (教育部局) 今の段階では設計しているわけではなく参考として出さざるを得ないので、前回の資料しか出ない。

セ (スの回答に対して) 他市で、荷重問題や避難問題等の調査不足のため、将来の計画が無駄になったという事例がある。リスクは相当丁寧にやってもらいたいし、アーニスありきで話を進めないでほしい。

ソ アーニスの話ばかりだが、幌別東小学校の話もしたい。補助金がなぜ幌別東小学校に当てはまらないのか。リノベーションにいくらお金がかかるのか内情を知りたい。他市の事例だが、社会資本整備交付金は使えないのか。

→ (市長部局) アーニスに移転する場合に活用できるであろう補助金が、その社会資本整備交付金である。図書館の施設を対象にした補助金は今はないが、この補助金は国土交通省がもっている補助金で、ある地区を面として整備する時に、その整備のための補助金が出るものである。市役所の移転に関して、中央地区の面と考えた時にアーニスは中央地区に含まれるので、移転する場合は移転する経費に対して活用することが可能であり、幌別東小学校に移転する場合には、この交付金は活用することが出来ないという事情である。

→ (教育部局) 幌別東小学校をリノベーションする積算はしていないが、バリアフリーになっていない、1・2階が教室ごとになっているので壁を取り外さないといけない、冷房もない、それと、場所も考えた時に、学生が通うのは難しいなど考えると、幌別東小学校は難しいと判断している。

タ (ソの回答に対して) 幌別東小学校なら、賃料がかからない。その分をまわせるのでは。どこに移るのにもお金がかかるのに、こちらから提案も出来ない。アーニスありきになっているが、こちらはアーニス嫌だという話をしている。だから、幌別東小学校で考えられないのかと。

チ (タの意見に対して) 何が何でもアーニスという話をしてとは思わない。連合町内会で防災の担当をしていたが、その観点で言うと、幌別東小学校は安全上、私は行く気がしない。国の防災の関係で、津波の発生に関して39分後に12mの津波の可能性があるとされている。幌別東小学校は海岸線から直ぐである。大谷高校跡も海拔3mくらいである。アーニスは、そこへ逃げ込みましようかと話をしている。駐車場に行けば、12mクリア出来る。図書館にいる

方は津波が来たら直ぐ逃げれる。私の担当した立場上、アーニスが一番有効だと思う。ただ、一般の意見交換会の話でも皆さん騒音問題が心配だったので、そこは測定をきちっとやってもらいたいと思う。それがクリアできなければ、アーニスはまずいかなと思う。

- ツ 複数案がまだ許されるなら、「しんた21」がベターであると思う。バリアフリーや自動ドア・エレベーターもあり、吹き抜けの施設で庭もある。図書館にしたら素敵な施設になるのではと思う。アーニス移転の経費もいまいちどうかと思う。工事費がもっとかかるとなったら、狭くなることもあり得るのかなど。昨年一年間の図書館を利用した人の割合の70%近くが児童と高齢者であり、アーニスの活性化に繋がるのか。主婦層を取り込んだ方が、アーニスのためになるのではないか。アーニスの救済案でないと言うなら、交渉して家賃を適正価格にして欲しい。

→(教育部局) しんた21に関しては、ディサービスはそのまま社会福祉協議会で続ける。健康推進グループが入っているところだけが空くので、そこに図書館が入るのはスペース的に難しい。

- テ 常に市の財政状況の話が出ているので、予算をかけないで図書館を設置する方法で、新庁舎に持っていく案を加えてもらいたい。

4 協議事項

- (1) 図書館の整備について ~本日時間不足のため省略~

- ア 20年後以降に新築できるまで、現施設のままで良いのか
イ 登別市教育委員会の考え

- (2) 事務局から説明及び委員からの意見(下線部が市側の回答)

- ア (教育部局) 本日会議の時間が押しているため、教育委員会の考え方は配布した資料でだいたいご理解いただけるかと思うが、次回11月28日を委員の方だけでフリートークをお示ししていたが、その日を第4回目とし、これまでのご質問などに対し具体的にお話し、お示ししている教育委員会の考え方の内容も含めて次回を第4回目とし、進み具合によって12月11日を5回目にするかフリートークにするか状況で変えさせていただきたいと思うがいかがであるか。

- イ (アに対して) 幌別東小学校をリノベーションする具体的な金額は出るか。それによって、補助金が必要になるか判断したい。

- ウ (イに対して) 幌別東小学校4月1日に、利活用に関するサウンディング型市場調査というのが入ってるはずだが、この情報出したらどうなんですか。

→(市長部局) リノベーションにかかる経費は、先程の館長からの話のとおり、移転を検討する段階での概算費では設計をするわけではないので、類似施設の平米単価に平米数を掛けて出すしかない。改修には経費がかかるであろうと予想は付くが、設計をしているわけではないので数字を出すのは難しい。前回資料で比較していただくかたちにならざるを得ない。

また、サウンディング型市場調査に関しては、幌別東小学校跡利用に関しては、今、市としては民間事業者の方達に活用していただきたいと考えているが、あそこを公共施設として、市として直接利用する考え方は、校舎に関しては持ってない。そこで、サウンディング型市場調査ということで、民間の皆さんであればこの校舎を使って何か考えることができますかと調査をしたんですが、民間の方達から具体的な提案はなかったという状況であった。

→（教育部局）教育委員会としては、一番最初にアーニスに移転してはどうかとまちづくり協議会からの提言が最初のスタートになっているので、それであれば今の課題が解決出来るでしょうということアーニス移転で進めたいということを考えていた。だが、他の移転先について全く検討をしないわけではないが、やはり財政的な事も考えざるを得ないということもご理解いただければと思う。次11月28日、その時にもう少し具体的話で、教育委員会としてなぜアーニス移転を受け入れたのかそういったこととお話出来ると思うので、その辺を含めて11月28日にさせていただきたい。

エ 要望だが、会議の議事録を資料で提示してほしい。

→（教育部局）概要版の議事録を作成し、図書館のホームページに公開している。時間を要するが、基本的に議事録は公開する準備をしている。

オ アーニスの工事費3.6億円とあるが、リストにある他の都市に併設する図書館の工事費は示してもらえるか。

→（教育部局）おそらく出来ないと思う。ただ、任意のどこかの市に対して当時の金額として入手可能かもしれないが、リストに網羅することは出来ないと思う。工事費が非常に高騰しているので、着工した時点の参考程度ではあるが調べてみる。

5 閉会

(1) 事務局から連絡

ア 今後について、次の会議までに疑問等があれば、事務局である図書館へ連絡いただきたい。

イ 本日の会議の冒頭で話があった伊達市の図書館基本構想がホームページに掲載されていた。プリントアウトしたので希望者にお配りする。